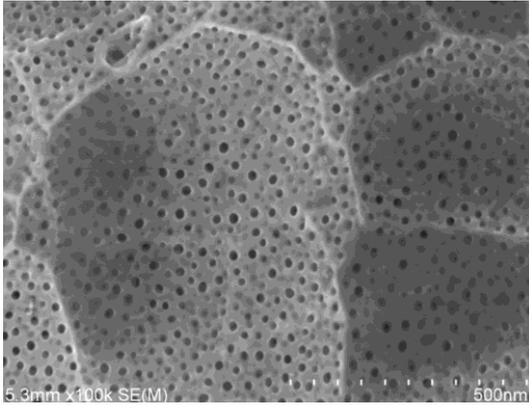


瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、
豊田市政記者東クラブ同時



アルミニウム陽極酸化皮膜表面の
電子顕微鏡画像

平成27年12月1日(火)
あいち産業科学技術総合センター
共同研究支援部 計測分析室
担当 吉田、杉本、西村
ダイヤルイン 0561-76-8315
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤、山田、杉山
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347

計測分析に関する講演会の参加者を募集します ～「金属表面処理の微細構造評価」～

あいち産業科学技術総合センターでは、高度計測分析機器を用いた分析・評価により、企業の方々の新技術・新製品開発への取組や現場の課題解決を支援しています。

このたび、企業からのご相談の多い「金属表面処理の微細構造評価」に焦点をあてた講演会を、平成28年1月18日(月)に開催します。講演会では、陽極酸化皮膜^{*1}やめっき鋼板について、皮膜の作製、物性評価や顕微鏡観察による微細構造評価など、具体的な計測分析の事例をご紹介します。

講演後は、計測分析に関する個別の技術相談会や、当センターの高度計測分析機器及び隣接するあいちシンクロトン光センター^{*2}の見学会を行います。

参加費は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 日時

平成28年1月18日(月) 午後1時30分から午後5時10分まで

2 場所

あいち産業科学技術総合センター 1階 講習会室
豊田市八草町秋合1267-1 電話：0561-76-8315
(東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南」駅 下車すぐ)

3 主催等

主催：あいち産業科学技術総合センター
共催：(公財)科学技術交流財団
愛知工研協会

4 内容

(1) 講演1 (午後1時40分～2時50分)

「金属表面酸化膜のマイクロ・ナノスケール形態の制御と機能性
—アルミニウム、マグネシウムを中心として—」

講師：工学院大学 名誉教授 小野^{おの} 幸子^{さちこ} 氏

(2) 講演2 (午後3時00分～4時10分)

「自動車用めっき鋼板のTEMによる微細構造解析」

講師：一般財団法人ファインセラミックスセンター 主任研究員 加藤^{かとう} 丈晴^{たけはる} 氏

(3) 事例紹介 (午後4時10分～4時20分)

「当センターにおける金属表面処理の観察分析事例」

担当：あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部

計測分析室 主任 杉本^{すぎもと} 貴紀^{たかのり}

(4) 技術相談会および見学会 (希望者のみ) (午後4時40分～5時10分)

①あいち産業科学技術総合センター (高度計測分析機器、3Dプリンタ)

②あいちシンクロトロン光センター

5 参加費

無料

6 定員

100名 (先着順)

7 申込方法

- ・技術開発に取り組む企業の方々を始め、どなたでも自由に参加できます。
- ・参加申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送または電子メールでお申込みください。
- ・申込書はあいち産業科学技術総合センターのホームページ(<http://www.aichi-inst.jp/>)からダウンロードできます。

8 申込期限

平成28年1月15日 (金) 午後5時まで (必着)

※定員に達し次第締め切ります。また、技術相談会については、希望者多数の場合、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※参加受付証は発行しません。お申込みの上、直接会場にお越し下さい。なお、定員超過又は技術相談会が抽選となったことにより、ご参加いただけない場合は連絡させていただきます。

9 申込先及び問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター

共同研究支援部 計測分析室 (担当：吉田、杉本、西村)

〒470-0356 豊田市八草町秋合1267-1

電話：0561-76-8315 FAX：0561-76-8317

mail：AIC0000001@chinokyoten.pref.aichi.jp

URL：http://www.aichi-inst.jp/

【用語説明】

用語	説明
*1 陽極酸化皮膜	電解液にアルミニウムなどの製品を入れ、これを陽極として通電したときに表面に生じた酸化物の層を「陽極酸化皮膜」という。
*2 あいちシンクロ トロン光センター	<p>(公財)科学技術交流財団が運営する、ナノテク分野の研究開発を支援する最先端の計測分析施設。平成 25 年 3 月に「知の拠点あいち」にオープンした。愛称：Aichi SR。産業利用を主目的としており、あいち産業科学技術総合センターが備える高度計測分析機器との相互利用を図ることにより、地域企業の技術的な課題解決を強力に支援する。</p> <p>なお、シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく(通常の計測装置で用いる電磁波の千倍から百万倍)、1 台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外から X 線まで連続した波長の光を出すことができる。この光を利用して様々な計測・分析を行う。</p>